福祉たずけあい基金BOOK

15期・16期の助成団体紹介





第 14 期・15 期 福祉たすけあい基金 贈呈式(オンライン)







目次

| 公益財団法人 かながわ生き活き市民基金は | 3 |
|--|------|
| 福祉たすけあい基金とは | 4~5 |
| 【数 4 2 地域与企业与企业、 | |
| 【第15期福祉たすけあい基金(第6期スタート助成)助成団体】 | |
| ふらっと南湖 | |
| ワーカーズコレクティブわにわに (3回目申請) | |
| 一般社団法人 みんなのレモネードの会 | |
| そといく会 | |
| NPO 法人 おでかけ綾瀬 (2 回目申請) | |
| Book & Art ニワシドリ | |
| Hug Kumu Nannies | |
| 育ち合い広場てとてとて | |
| 一般社団法人 アマヤドリ | |
| NPO 法人フードバンク浜っ子南 ······ | |
| リンパ浮腫ネットワークジャパン | |
| 特定非営利活動法人 まなひろ | |
| ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf | |
| ラフェリーチェ | |
| 地域交流サロンさざなみ | 20 |
| 相模原をプロデュースする会 | 21 |
| 【第 16 期福祉たすけあい基金助成団体】 | |
| 特定非営利活動法人 神奈川フードバンク・プラス | 22 |
| 特定非営利活動法人 リンクトゥミャンマー | 23 |
| 特定非営利活動法人 フードバンク横浜 | 24 |
| 港北ユーステーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| 特定非営利活動法人 バンブーまなび塾 | |
| 一般社団法人 4 Hearts ···································· | |
| 特定非営利活動法人 Fun Place 39 ··································· | |
| 認定 NPO 法人 よこはま成年後見つばさ | |
| 青葉フードシェアネットワーク | |
| NPO 法人 ロクマル | |
| 子育てサークル金沢区ママ | |
| 1 11 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 | 54 |
| 財団を応援する「賛助会員」募集と「福祉たすけあい基金」への寄付のお願い 3 | 3~34 |
| 賛助会員・福祉たすけあい基金寄付申込書 | 35 |

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金は・・

◆成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合 (1971 年創立) は、90 年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990 年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関は無いため、自前の財源による市民バンク(「女性・市民コミュニティバンク」の前身)をつくり、1998 年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は 2003 年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいにかかわる市民の福祉活動・非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の 10 年間の助成活動の実践を経て、2013 年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団かながわ生き活き市民基金」を設立しました。

◆ミッション

<投資して利潤を稼ぐことが経済>という考えが現代社会に蔓延しています。つまるところ、 人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。しかし一方で、豊かな生活をつくることが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。 人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平 和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きに くい社会になっています。

かながわ生き活き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆基金の事業・活動

かながわ生き活き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を 通じた市民活動・事業への支援です。現在3つの助成プログラムを行っています。

福祉たすけあい基金(2015 年度から通常型助成とスタート助成を実施)は、意思ある生活クラブ組合員 1 万 1 千人の月 100 円寄付を基本財源とした助成プログラムです。事業指定助成プログラム「エラベル」は、登録した団体が寄付募集活動を行い、財団はこれを支援します。オーダーメイドプログラム(2015 年助成の「子どもいきいき助成」)は寄付拠出者が助成プログラムを指定します。

助成事業以外には、講座事業、ネットワーク事業などを行っています。

福祉たすけあい基金とは

福祉たすけあい基金はこれからの地域社会をつくっていくために、市民自らが福祉活動の主体 となっていくこと、そしてその基盤となる市民同士がたすけあう関係を育て、地域を豊かにして いくことをめざして生み出しました。かながわ生き活き市民基金の助成事業の一つに留まらず、 かながわ生き活き市民基金を支える基金です。福祉は人々の生活そのものと言ってもよく、福祉 たすけあい基金では高齢者、子ども、女性、外国人、障がい者など様々な弱い立場の人々を支援 する活動に助成しています。

🦃 **福祉たすけあい基金の特徴** ~ 1 万人に支持される基金~

福祉たすけあい基金は市民一人ひとりから毎月(毎年)寄付を集め、おおぜいの力でまとまっ た額の基金を創りだしているのが特徴です。98%以上にあたる寄付が生活クラブ組合員 1万人 以上の毎月 100 円の寄付で寄せられています。これだけおおぜいの寄付者が趣旨に共感し、継 続的に基金を支えていることは福祉たすけあい基金の最大の強みです。今後も顔の見える支持者 をさらに拡げつつ、基金のミッションを伝え地域に拡げていかなければならないと考えています。

福祉たすけあい基金の助成事業

毎年2 回助成を行います。1 申請上限 100 万円の助成(通常型)と、比較的小さなアソシエ ーション等の活動の立ち上げや、活動初期の基盤づくりを応援する「スタート助成」をそれぞれ 1回ずつ行っています。福祉たすけあい基金にはこれまで293団体から約1億3.700万円の申 請があり、地域で福祉たすけあいの市民活動を行う180団体へ約5,900万円を助成しました。

第 9 期からは「スタート助成」を既存団体の新規事業立ち上げにも拡げ、これによって既に 地域で活動実績を持つ団体が、これまでの実践を通して見えてきた新たな地域課題の解決にも活 用が広がっています。

| 福祉たすけあい基金 助成事業 | 福祉たすけあい基金 ~通常型~ | 福祉たすけあい基金 ~スタート助成~ | | |
|-------------------|--------------------|-----------------------|--|--|
| | にするが基金 | スタート的成。 | | |
| 助成総額 | 400 万円 | 500 万円 | | |
| 1 件当たり上限 | 100 万円 | 40 万円 | | |
| 活動回数の規制 | なし | 最長3回まで同一事業での申請可能 | | |



第1期~16期までの申請・助成実績

赤字部分はスタート助成



| | 助成時期 | 助成団体数 | 助成金額(円) | 申請団体数 | 申請金額(約万円) | |
|--------|------------|-------|--------------|-------|-----------|--|
| 第1期 | 2014年4月助成 | 9 | 4, 514, 100 | 34 | 2400 | |
| 第2期 | 2015年2月助成 | 12 | 3, 944, 950 | 17 | 700 | |
| 第3期 | 2015年5月助成 | 11 | 3, 822, 000 | 34 | 2400 | |
| 第4期 | 2015年8月助成 | 13 | 3, 389, 131 | 20 | 1000 | |
| 第5期 | 2016年3月助成 | 6 | 1, 667, 633 | 12 | 390 | |
| 第6期 | 2016年8月助成 | 7 | 3, 245, 769 | 18 | 640 | |
| 第7期 | 2017年4月助成 | 10 | 2, 493, 230 | 16 | 490 | |
| 第8期 | 2017年8月助成 | 13 | 4, 000, 000 | 20 | 1000 | |
| 第9期 | 2018年4月助成 | 16 | 4, 346, 100 | 24 | 740 | |
| 第 10 期 | 2018年8月助成 | 11 | 3, 560, 382 | 19 | 859 | |
| 第 11 期 | 2019年4月助成 | 14 | 4, 440, 364 | 15 | 508 | |
| 第 12 期 | 2019年8月助成 | 11 | 3, 941, 072 | 13 | 611 | |
| 第 13 期 | 2020年4月助成 | 12 | 3, 266, 759 | 13 | 393 | |
| 第14期 | 2020年11月助成 | 8 | 3, 275, 903 | 10 | 544 | |
| 第 15 期 | 2021年4月助成 | 16 | 5, 000, 000 | 17 | 581 | |
| 第 16 期 | 2021年8月助成 | 11 | 3, 996, 881 | 11 | 461 | |
| | 合 計 | 180 | 58, 904, 274 | 293 | 13, 718 | |

申請事業活動の特徴

第1期から第16期までのべ180団体に助成を行ってきた中で、子ども食堂や学習支援など、 子ども・若者の貧困に関する活動を行っている団体や、高齢者福祉に関する活動団体が目立って います。また、障がいへの認知を広げる活動や障がいを持つ方の社会参加を支援する活動、ひき こもりのピアサポート活動からの申請もあり、人々に寄り添いたすけあいを進める幅広い活動に 申請が拡がっています。

(市民活動の先駆性·有効性·持続性·参加性、そして社会を変える意気込みに期待

選考に当たっては、事業・活動の先駆性や有効性、持続性と共に、広く地域の人々や団体と連携 し、時間・知恵・労力・お金などを拠出し合い、市民が主体となり地域の課題を解決する参加性 が重視されます。また市民事業・活動を生み出し、育成し、事業拡大するだけでなく、市民の実 践を根拠にアドボカシー活動を行い、社会を変えていく志が拡がることが期待されています。

選考委員(敬称略)

委員長 手塚 明美 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 理事長

田中 夏子 イタリア協同組合研究者/農業者

川岸 卓哉 弁護士/(特非)原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長

友澤 ゆみこ (特非) ピッピ・親子サポートネット 理事長

小田 鈴子 元逗子市副市長/元逗子市議

横浜 Y M C A 国際・地域事業担当チーフディレクター 高村 文子

(特非) さくらんぼ理事 共生事業担当 伊藤 保子

坂爪 則子 湘南生活クラブ生協理事

君島 周子 かながわ生き活き市民基金理事・生活クラブ神奈川副理事長



ふらっと南湖(茅ヶ崎市)

代表 松本 素子

助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月

2020年 10月設立

団体の目的・活動内容

未来ある子どもたちが明るく楽しく生きてほしい。「そのために何が必要か」を大人たちが考え続けること、その場をつくることが目的です。ただ、難しい顔をして向き合うのでなく、大人たちも出会いを楽しみ、交流すること、そして、その姿を子どもたちに見せていくことが大事なのだと今改めて気づいたところです。

活動歴

- 毎月の子どもについての勉強会と見学会・・・・開設前(4月)から開催
- ・クラウドファンディングによる社会的養護の現状 と課題の動画による広報と、活動資金集め
- ・地域説明会、行政の子ども関係機関への挨拶、 民生委員や他の居場所活動への見学
- ・子育てひろば(毎週水曜日)・・・孤育てにならないようにゼロ歳児のお母さんに向けた場づくり

団体情報

住所: 茅ヶ崎市南湖

TEL: 0467-82-7155

Mail: nangohouse@gmail.com

URL: https://nangohouse.studio.site/

★助成した事業・活動

南湖ハウス

★内容

社会的養護の必要な子ども若者の居場所づくり

★助成対象

物品購入費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、助成をありがとうございました。南湖ハウスの助成申請は初めてのことで、申請書を書くことで、自分たちのすべき役割を改めて意識することができ、ブラッシュアップになりました。3人で立ち上げた「ふらっと南湖」ですが、始めてみると様々な気付きがあり、一人一人の想いとやさしさに触れることができ、日本も捨てたものじゃないと感じます。また、その中で多数の方から「南湖ハウスのようなところがあったらいい」という感想と、様々な地域での広がりを期待され、私たちもご協力できると良いなと思っています。



他の活動団体の見学



南湖ハウスオープニング

ワーカーズコレクティブわにわに(大和市)

代表 栗崎 静香

助成金額 176,000円

団体紹介

設立年月

2019年 3月設立

団体の目的・活動内容

地域の人たちに、できるだけ自然に沿ったくらしを 始めようとする気づきの場を提供したいと思い、地 域に開く「コミュニティスペースわにわに」を開所しま した。子ども達が健康で、楽しく、希望を持って生き られる社会づくりをめざしています。

活動歴

•2017年 わにわに食堂開始 親子のひろばわにわに開所

・2019年 みんなのスペースわにわに開所

-2020年5月 わにの図書館開始

団体情報

〒242-0028

大和市桜森3-4-13 さくらの森保育園分園

TEL: 046-204-7608

Mail: tyanomac@outlook.com

URL:

https://www.facebook.com/waniwaniplace/

★助成した事業・活動

「みんなのスペースわにわに」屋外図書館『わにの 図書館』

★内容

屋外交流のスペース屋外図書館「わにの図書館」

★助成対象

物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

趣旨・目的である「子どもも大人もともに育ちあう居場所」として提供することが、コロナにより取り組みが難しい状況ですが、孤立した子育て家庭が虐待につながるリスクは紙一重であること、ひとり親世帯が増えていること、家計が苦しいことが傍目からはわからないなど、子育て世帯の課題がみんなのスペースわにわにの事業を通してますますリアルに見えています。

コロナによる影響が大きく出ている中、そうした方たちとつながる窓を持つこと、寄り集まる場を作ることがさらに必要です。コロナ自粛期間に取り組んだ「絵本の貸出」は、引きこもり誰とも話ができずにいた親子が、ちょっとだけ立ち寄り話ができる効果的な場となり、ピンチがチャンスになった取り組みでした。今回助成していただいた縁台、本棚は、室内に入るのは気後れする方が一歩踏み出せるように、また、近隣の方が、フードドライブの拠点でもあるわにわにを知ってもらうきっかけに。散歩途中にふらっと立ち寄り過ごせる場を提供し続けます。







一般社団法人 みんなのレモネードの会 (横浜市) 代表 榮島 佳子 助成金額 261,727円

団体紹介

設立年月

2016年12月設立(2020年4月 一般社団法人)

団体の目的・活動内容

一般社団法人みんなのレモネードの会は、小児がん患児家族の立場から「小児がんのことをもっと知ってほしい」、「患児や患児家族でつながりたい」と小児がん啓発活動、患児やその家族の交流会などを開催しています。新型コロナウイルス蔓延のため、2020年度からはオンラインでの活動が中心となっています。

活動歴

- ・小児がん患児・きょうだい児・保護者対象の交流会 (読書部・UNO部・ミュージカルで遊ぼう部・おしゃ べり部)を毎月1回開催(2020年度からはオンライ ン化)。
- ・毎週月曜日に小児がん患児・きょうだい児対象に「みんレモオンライン自習室」を開催。
- ・患児家族を繋ぐネットワーク「レモンの会」(ラインオープンチャットの非公開型を利用)を作り、患児や家族の交流を行っている。
- ・当会のイベント(部活動やお泊り会など)や患児家族ネットワーク・レモンの会に参加する小児がん患児自身がお世話になった病院や施設にクリスマスプレゼント(玩具や本など)や手作りのクリスマスカードを2017年から自ら届けている。
- ・ファーマシーガーデン浦賀様からのご支援で、患 児家族交流のためレモン狩りを開催している。

団体情報

住所: 〒220-0073

横浜市西区岡野1-6-48-402

Mail:makelemonade-37gogo@yahoo.co.jp URL:https://www.minnanolemonade.com/

★助成した事業・活動

「小児がんをつたえる、つながる」活動の広報 関係の環境整備

★内容

より身近で分かりやすいサイトリニューアル

★助成対象

広報費、物品購入費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

任意団体時代からのサイトのリニューアル、ノート パソコン等の購入費をご支援頂きました。

新しいサイトは、2021年7月に完成。「内容がとても 分かりやすい」「温かい雰囲気で参加してみたくな る」などと大変好評です。

また、事務局専用のパソコンを購入できたことで、 個人のパソコンを使うことなく作業ができるようにな りました。オンラインでの講演会やシンポジウムに登 壇することも増え、このような場でも非常に役立って います。

オンライン化が進んだことで、当会の活動に参加してくださる患児家族が、神奈川、東京、千葉、埼玉、静岡、山梨、宮城、福島、新潟、岐阜、三重、和歌山、愛知、京都、兵庫、大阪、岡山、広島、佐賀などと全国に広がっています。

神奈川にある当会が、このように広く患児家族と繋がれたのは、貴団体よりご支援頂き、オンライン化を進められたおかげであると思っています。心より感謝申し上げます。







そといく会(横浜市)

田村 真智子 代表

170,000円 助成金額

団体紹介

設立年月 2019年 5月設立

団体の目的・活動内容

街中の自然と地域の関わりの中で、親子を中心に 「外遊び」をテーマに多様な繋がりを生み出し、コミュニティー作りを推進し、子供たちの健やかな成長を願って子育て支援をしていきます。

- 1、外遊びを組み入れた親子のための支援
- 2、子育てに関するセミナーおよび交流、研修企画
- 3、その他、本会の目的を達成するために必要な活動

- ・外遊び保育「どんぐりん」 2013年から未就園児 を対象に週に1回。母親と離れて野外散歩、遊ぶ。
- ・おやこの居場所「ぽかぽか」 2020年から親子 でゆるく過ごす場づくり。コロナ感染状況で不定
- 親子のための小さな菜園「ちびもくふぁーむ」 2020年9月から 育てたい野菜、プログラムを選び 親子で土作り、種まき、収穫、食べるまでを体験 土作り(堆肥作り、ダンボールコンポスト、土壌 混合法)。
- その他季節行事(こいのぼり作り・七夕など)、クラフト DIY(かざぐるま作り・倉庫作り)、お話(絵本)、昔 遊び (メンコ・こままわし)、泥んこ遊びなど。

団体情報

住所:〒231-0833 横浜市中区本牧満坂166 TEL:045-622-3695

Mail:sotoikukai@gmail.com

★助成した事業・活動

ちびもくふぁ一む

★内容

子どもの菜園・おやこの居場所活動

★助成対象

菜園整備の物品購入費、賃借料、講師謝金

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年度に続き、新型コロナウィルス蔓延により、制 限された中での活動を行なっています。そのような 中で「親子で集える農体験できる菜園づくり」の環境 を整える為、基金を基に菜園内の土や足場となる枕 木の購入、雨水タンクの設置、小さな子供のための 遊び場となる砂場の砂などを購入し、少しずつ形あ る楽しめる菜園になってきました。また購入した木材 で、地域の団体に所属するお子さん達とベンチ作り をするなど、さまざまな人たちとのコミュニケーション が広がっています。

今も計画通りに進められず、イベントなどを開催し て多く集うのは難しい状況ですが、今後活動を広げ る可能性が見えてきました。ご支援いただきありが とうございました。





NPO法人 おでかけ綾瀬 (綾瀬市)

柴田 代表 雄二

助成金額 400.000円

団体紹介

設立年月

2019年 11月設立

団体の目的・活動内容

団体の目的・活動内容 介助と運転が一つになったサービスを提供する市 民参加の福祉有償運送(移動サービス)を主活動と し、高齢者や障がい児者が今まで行きたくても行け なかった買い物やイベント、役所や病院などに、い つでも安心して外出できる様サポートすることで、綾 瀬市民としていつまでも自分らしく安心して暮らせる 事業とします。また、移動サービス事業を核として、 地域市民や福祉団体、福祉従事者等が一体となっ て地域を支えることで、地域に欠かせない社会資本 て地域を支えることで、地域に欠かせない社会資本 として構築することを目指していきます。

活動歴

- ·2019年11月にNPO法人設立後、2020年4月事 業開始に向け情宣活動や学習会を実施。
- ・2020年2月運営協議会を経て4月より移動サー ビス事業開始。
- コロナ禍で様々な制約がある中、綾瀬市には外 出支援を必要とする利用者さんが多く、10月時 点での利用会員は100名を超え、運行回数も着 実に増加しメンバー全員で対応にあたっている。

団体情報

住所: 〒252-1107

綾瀬市深谷中7-25-3

TEL: 080-7610-3367

Mail: npoodekakeayase@yahoo.co.jp

★助成した事業・活動

福祉有償運送(移動サービス)事業

介護と運行が一つながりとなった「おでかけ サポート」

★助成対象

物品購入費、人件費一部、広報費、通信費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

「困ったときはお互い様」の精神を尊重して人の心に寄 り添ったケアを地域に広げるために、市民参加の移動 サービスを主体とした事業を行い、地域の活性化や地域 住民の生活向上に寄与することを目的として立ち上げた 『NPO法人 おでかけ綾瀬』ですが、2年目となる今年度 ものコロナ禍の状況は変わらずスタートしました。今年度 こそ利用者さんたちや関連団体との交流を深め、綾瀬市 内の福祉活動を活性化させたいとの思いから、おでかけ 企画や団体交流などを計画していますが、残念ながらま だ実現に至ってはいません。それでも通院や買い物など の利用者さんが必要とするご依頼には、利用者さんの増 加と共に順調に対応してきております。生き活き助成を受 けて、利用者さんとの連絡や運行に必要となる通信機器 や車両表示板、また移動サービス事業に欠かせない人 件費等へ活用させていただき、我々の活動が順調に伸 びてきたと実感しております。ありがとうございました。

今後のコロナ収束に向っては、おでかけ企画など利用 者さんの生活向上につながる活動を計画して、おでかけ 綾瀬のさらなる事業拡大につなげて行きたいと思います。



通常総会



個人車にマグネット装着



おでかけ綾瀬

綾瀬市外出支援担い手研修

有償運送車両 関神福第278号

Book & Art ニワシドリ (座間市)

代表 飯島 公子

助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月 2020年 11月設立

団体の目的・活動内容

本やアート(表現活動)を仲立ちとして人と人とがつながり、地域における居場所となる活動を行うことを目的としています。その目的を達成するために、主に3つの柱で活動を進めています。

- ・「まちライブラリー(文庫)」活動で、本やおもちゃの閲覧・利用 貸出しや読書会・絵本セラピーを通して、様々な世代の交 流ができる、斜めの関係づくりを目指しています。
- ・アートワークショップ活動では、参加者自身の創造性を引き出すとともに、他者との多様な交流のなかで、新たなものの見方や考え方に触れ、自身の表現活動を通して自己肯定感を高める体験の場としていきたいと考えています。また、身近にある素材や自然素材を活用することを通して、地域の魅力や自然に興味関心をもてるようにします。
- ・体験活動では、子ども達に具体的な体験をよりどころとして、 感動したり、驚いたりしながら「なぜ?どうして?」と考えを深 める中で、実際の生活や社会・自然の在り方を学んでいくよ うな活動を目指します。

活動歴

- ・「まちライブラリー@しもみぞ」にて、本の貸出し、本のリサイクル、ワークショップ等の企画・運営
- ・障害児者余暇支援活動の、アートワークショップの企画・運営
- ・「まちライブラリー@ざま☆ほしのたに文庫」開設
- 絵本セラピー、アートワークショップの企画
- ・喫茶ランドリーホシノタニ団地店とのコラボで、巣箱ライブ ラリーの運営

団体情報

住所: 〒252-0028 座間市入谷東4-60-33

Mail: hoshinotani.bunko@gmail.com

URL: https://wwwfacebook.com/hoshinotanibunko

★助成した事業・活動

空き家を活用した居場所

★内容

まちライブラリーでの文庫活動、アートワークショップ、体験活動

★助成対象

物品購入費、消耗品費、講師謝金、広報費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍でのスタートではありましたが、助成金をいただいて活動の拠点となる「まちライブラリー@ざま☆ほしのたに文庫」をオープンすることができました。コロナ感染予防対策グッズや館内の備品、ワークショップに使用する用具や素材の購入、リーフレット作成等に活用させていただきました。また、書籍の購入費で利用者からのリクエスト本を購入し、喜んでいただきました。コロナ禍で活動に制限はあったものの、アートワークショップではそれぞれが制作を楽しむことで豊かな時間を過ごすことができました。これからも地域の居場所のひとつとして世代を超えた交流のもとに、人と人がリアルでつながる笑顔が広がる活動を展開していきたいと思います。











Hug Kumu Nannies (横浜市)

代表 高橋 郁乃

助成金額 290,000円

団体紹介

設立年月

2020年 11月設立

団体の目的・活動内容

横浜市西区にて「こども食堂ハレの日ケの日」を運営している中で、「こどもの一時預かりをやってくれるところが近くにない」「予約を取ろうと思ってもすぐに埋まってしまう」というお声をきき、保育士2名を含むメンバーで乳幼児一時預かりの活動を開始しました。お子さんと親御さんだけで、家に籠ってしまうことが多い昨今、ちょっとした悩みを分かち合ったり、ママさんがくつろげるような場所として、子育て支援の観点から「ままカフェ」も月に2回実施しています。

活動歴

- ·2020年11月 発足
- ・2020年12月 ホームページ予約サイトによる 一時預かり利用申し込み開始
- •2021年3月 横浜市認可外保育施設届出承認
- ・2021年4月 ままカフェ開始

団体情報

住所: 〒220-2232

横浜市西区老松町54

TEL: 090-5343-4919(高橋)

Mail: hugkumu.nannies@gmail.com

URL:

https://select-type.com/s/hugkumu

-nannies

★助成した事業・活動

一時預かり事業の開設

★内容

子ども食堂から事業拡大し一時預かり事業新設

★助成対象

物品購入費、賃借料、消耗品費、印刷費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この活動を始めるきっかけとなったこども食堂にて、こちらの助成金に助けていただいたご縁から、今回乳幼児一時預かりのHug kumu Nanniesという活動でも助成していただきました。最初は、完全に好意でのお預かりしかできないだろうと思っておりましたが、事業としてきちんと続けていけるように事務局の皆様にアドバイスいただいたり、真摯に相談にのっていただけたこと、本当に感謝しております。コロナ禍で小さなお子さんを連れて行くことが躊躇される通院や検査、ワクチン接種などの際にも、実家にお子さんを預けるような感覚で頼ってもらえる存在を目指しています。そしてお子さんにとっては「じいじばあば」のお家に遊びにきて、普段なかなかできないような遊びを体験できる場として、親しんでいただければと思っております。







育ち合い広場てとてとて (藤沢市)

代表 小川 智子

助成金額 240,000円

団体紹介

設立年月

2017年 7月設立

団体の目的・活動内容

- ・子どももおとなも育ち合おう。子どもの暮らしと向き合い地域とつながり育ち合うこと
- ・子ども達の豊かな感性や想像力を見守り引き出せる環境を考え育成を見守ること
- ・互いの人格を尊重し、各々が各々らしく生きるため の場所づくり
- (1)子どもの暮らしと向き合う座談会
- (2)互いの特技や趣味を生かし、学び育ち合える場 「手等子屋(てらこや)」の開催
- (3)地域の自然の中で四季折々を感じながらの野外体験活動
- (4) 「困ったときはお互い様」分かち合い、助け合いのフードバンク分配活動。環境問題にも取組む

活動歴

・大人の手仕事会『おとなの手等子屋』、暮らしの 中の問いと向き合う『暮らしの座談会』、居場所 活動『てらこやわはは』、年間プログラム自然体 験活動『てらこやであそぼう!まなぼう!』

団体情報

住所: 〒251-0002 藤沢市大鋸

Mail: tetotetote2017@gmail.com

URL: www.facebook.com/tetotetote2017

★助成した事業・活動

地域で子どもも大人も育ち合う場づくり

★内容

『こころサポーター養成講座』開催

★助成対象

講師謝金、交通費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

様々な子どもたちと触れ合い向き合うなかで、自分たちの内面を磨き深めたいと思うようになった私達。『季節のまちかど探検隊』では、自然の中での遊びを長年行ってこられた達人の方々をお招きし、大人も学びを深める活動を行いたいと計画していたものの、コロナ禍や先方のご都合などで断念。今は自分たちの知恵や経験を寄せ合い、手探りの活動を行っています。

「こころ」についての学びは、講師の方も私たちの思いをご理解くださり、『こころサポーター養成講座全12回』を対面で開催中です。講座での学びは想像以上に大きく、参加者それぞれが自分のこころと向き合うひとときとなり、癒しの涙を流す方も・・・。

自分の幸せは周りの幸せなしではありえないということ、そして子どもの幸せを願うなら、まずは自分を満たすこと・・・。この講座が自分を満たすひとときとなっています。

皆々様のご支援のおかげで、幸せの種まきができました。心より御礼申し上げます。









一般社団法人 アマヤドリ (葉山町)

代表 菊池 操

助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月 2020年 12月

団体の目的・活動内容

日本では18歳未満が社会的養護期間とされており、18歳を過ぎると基本的に児童養護施設や里親宅からは退去、児童相談所などの相談先も対象外となり、多くの居場所と相談先も失います。

何らかの事情で家庭に居場所を見つけられない 若者は多数おり、彼らが居場所をなくし、相談先も 見つけられない中で追い詰められていく「既存の社 会支援の空白」が存在しています。

社会支援の枠組みを超え、若者の相談先となり、 居場所の選択肢を作り、希望する未来へと伴走す る活動の意義とニーズはさらに高まっていくと予想 できます。

一般社団法人アマヤドリでは、こうした既存の社会 支援制度のすき間にいる若者に支援を届けることを 目的に設立し、以下の活動を行っています。

- 1. 18歳から29歳の女性専用サポート付きシェア ハウス運営
- ハウス運営 2. 居場所のない若者への伴走支援
- 3. 社会啓発

活動歴

- 1. 18歳から29歳の女性専用サポート付きシェア ハウス運営事業
- 2. アマヤドリのシェアハウスへの入居が最適で はないケースの若者へ適切な支援先へつなぐ

団体情報

Email: amayadori.stephouse@gmail.com URL: https://www.amayadori-official.net/

★助成した事業・活動 ステップハウスアマヤドリ

★内容 ステップハウスの設立

★助成対象 家賃一部

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

立ち上げにあたり、助成をいただき、心より感謝申し上げます。

私たちは、社会的サポートの空白と言われる「福祉の18歳の壁」を、支援でつないでいくために、立ち上がりました。18歳以上の若者を対象とする事業は全国でも稀で、神奈川でもごく少数です。

今回助成をいただいたことで、1年間で10人の女性に住居提供を行うことができました。支援のための大きな一歩を踏み出すことができたのも、皆様のお陰に他なりません。

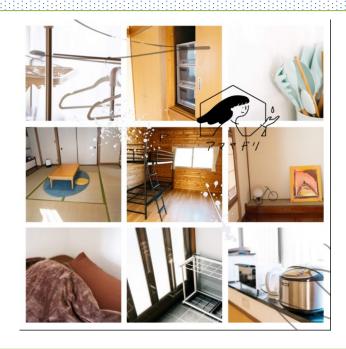
依然として、私たちの元には、連日多くの相談が 寄せられます。今後も居場所もなく、経済的にも困 窮し、社会の中で孤立している若者の声を聞き、社 会に繋いでいくために伴走して参ります。

本当にありがとうございます。









NPO法人 フードバンク浜っ子南 (横浜市) 代表 下山 洋子 助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月

2020年 6月設立 (2021年 4月 NPO法人化)

団体の目的・活動内容

コロナ禍により経済的に逼迫するひとり親とその子どもたちは、住んでいる地域で食品支援が受けられることが必要です。フードバンクの仕組みを利用し、個人・団体・企業から食べきれない食品や品質上問題ないが市場に出せない食品、防災用品の入れ替えに伴い余剰となった食品を寄贈いただき、食の支援を必要としている方々に提供するフードパントリー活動を行います。

フードバンクが地域に身近なものとなるよう活動し、 だれひとり取り残すことなく食を分かち合える社会を 創ることを目指します。

活動歴

2020年6月任意団体フードバンク浜っ子南を設立し、7月に活動を始めました。この1年間で、フードパントリー参加数は月28家族から約130家族に増えています。現在、横浜市戸塚区、南区、磯子区の4会場で各会場月1回実施しています。この活動を地域に根付かせ発展させていきたいと願い2021年NPO法人化しました。

団体情報

住所: 〒 245-0067 横浜市戸塚区深谷町 1252番地13ドリームハイツ3棟203号

TEL: 080-9201-4357

Mail: smile@fbh-minami.org URL: www.@fbh-minami.org

★助成した事業・活動 ひとり親世帯への食料支援

★内容

ひとり親世帯へのフードパントリーの開催、 フードデリバリー、フードドライブ活動

★助成対象

賃借料

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年の活動開始後間もない時期に新型コロナ対応緊急応援第3次第4次助成をいただき、フードバンクに欠かせない食品倉庫を確保することができました。このたびの15期助成は、継続して倉庫賃料に使わせていただきます。助成により活動基盤の確保をご支援いただけることに深く感謝いたします。

活動の中で接しているひとり親さんたちは、長引くコロナ禍により経済的困難が一層深刻になっているように感じています。また経済的問題だけでなく様々な課題を複合的に抱えていることがわかりました。地域密着型のきめ細かい支援をするには1団体の力では足りず、様々な団体・組織・個人のお力添えが必要です。これからも地域の皆さんとの連携をつくりつつ地道に活動を続けていきます。







リンパ浮腫ネットワークジャパン(横浜市)

代表 岩澤 玉青

助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月

2019年 11月設立

団体の目的・活動内容

団体の日内・活動内容 「リンパ浮腫」は、乳がんや婦人科がん等の治療 後に発症する後遺症で、難治性疾患です。リンパ浮腫ネットワークジャパン(リンネット)は、リンパ浮腫に関わるすべての人が、困ることなく笑顔で安心して過ごせる社会を目指して、患者支援と医療環境改善を実現するために2019年11月に設立されました。 準備期間を経て春から活動をスタートし、仲間と出 会い 経験や知恵などを共有しながら支え合うおしゃ では、経験や知思などを共有しなから支え合うのしゃべり会「なかまカフェ」や、正しい情報を学ぶ「リンパ浮腫セミナー」、リンパ浮腫に関係するがん患者会・支援団体や医療者が交流(ネットワークを構築)し、共に協力しあって活動できる関係づくりの場としての「ネットワーク・ラウンジ」などを開催しています。また、リンパ浮間の「フンストップ型の情報すると、また、リンパ浮曲の「フンストップ型の情報する」を表しています。 目指したポータルサイトの運営をしています。

活動歴

・なかまカフェ:8回 107人

・リンパ浮腫セミナー:5回 355人

・ネットワークラウンジ:5回 70人

・リンパ浮腫のポータルサイトの運営

ロビー活動、講演他

団体情報

Mail: lymnet.info@gmail.com WEBサイト: https://lymnet.jp/

https://www.facebook.com/LymphedemaNetworkJ apan

★助成した事業・活動

リンパ浮腫の実態調査と情報ポータルサイト の拡充

★内容

リンパ浮腫患者への実態調査、ワンスットッ プの情報提供

★助成対象

広報費、講師謝金

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、リンパ浮腫ネットワークジャパン(リン ネット)の活動にご理解とご支援をいただき、ありが とうございます。がん治療後の後遺症である「リンパ 浮腫」を取り巻く医療環境には様々な課題があり、リ ンネットでは、リンパ浮腫の患者支援と医療の改善 に向けて取り組んでいます。

15期の福祉たすけあいスタート基金に助成いただ けたことは、設立間もない私たちにとって、運営面は もちろん私たちの精神的な支えとなりました。助成 金によって、リンパ浮腫に悩むがん患者さんの環境 が1つでも良くなるように、また、寄付をいただいた 皆様のお気持ちが生かされるように、しっかりと活 動に取り組んで参りたいと思います。本当にありが とうございました。





リンネット いよいよ始動! リンパ浮腫の仲間とつながろう!

な・か・ま Cafe

6月21日(日) 10:00~12:00



参加費無料。ZOOM開催のため全国どこからでも!

リンパ浮腫ネットワークジャパン



特定非営利活動法人 まなひろ (横浜市) 代表 木村 裕之 助成金額 180,273円

団体紹介

設立年月

2019年 3月設立

団体の目的・活動内容

横浜市鶴見区及び近隣地域において障がい児、ひとり 親家庭の子等を対象に、学習支援、ピアサポート活動、 情報技術・教育支援を通して、だれもが自発的に社会参 加することができるように地域社会の活性化に寄与する ことを目的とする。

活動歴

学習支援・ピアサポート・情報技術のサポートに、本年度より地域とのつながりをもつきっかけに、Studio Connectという新事業をスタートしました。地域のイベントで子ども向けのゲームやハンドメイド品の販売、ワークショップ等開催し、地域の方々と交流することでまなひろを知ってもらう機会になっています。

団体情報

住所: 〒231-0062

横浜市中区桜木町1丁目101番地1

クロスゲート7階 TEL: 045-572-7075

Mail: info@yuuei.yokohama

URL: https://www.yuuei.yokohama

★助成した事業・活動

WEBサイトでのまちのつながり事業

★内容

Webサイト作成を通じた人と人とのつながりづくり

★助成対象

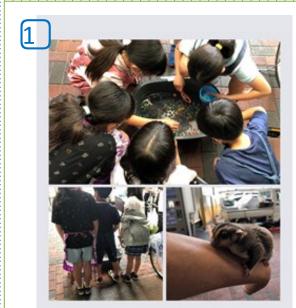
物品購入費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナウィルスの終息が見えない中、いろんな情報が人々を迷わせています。溢れかえる情報の中から「正確な情報」を得ることは大切なことです。

取材をした中で私たちが伝えるべき情報は住所や電話番号ではなく、「人の想い」であると感じています。物の販売ひとつをとっても、そこにたどり着くまでのストーリーがあります。そのストーリーを丁寧に伝えていきたいと思っています。

取材先で写真の撮影をしたのですが、後日撮影した写真がホームページに掲載されることを皆さんが楽しみにしてくれていると教えていただきました。楽しみに待ってくださっている方がいることも私たち自身とても励みになります。また、今こうして活動できているのは皆さまのおかげであり、助成先としてNPO法人まなひろを選んで下さった皆様にも感謝しております。





- 1 イベントでのスーパーボールすくい
- ②公共施設で学習支援
- ③ ヘアゴム作成ワークショップ



ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf (葉山町) 代表 大下 利栄子 助成金額 315,000円

団体紹介

設立年月

2008年 7月設立

団体の目的・活動内容

市販の絵本を解体し、ページの大きさに透明シートを切り、本文を点字化して挟み込んだ、英国発日本唯一のユニバーサルデザイン絵本の製作と貸出を行う。誰もが尊重され共に生きる社会の実現に貢献することを目的とし、絵本製作講座など、絵本をツールにユニバーサルデザインの理念の普及・啓発活動に取り組んでいる。

活動歴

- ・2021年9月現在、蔵書は1,170冊、32家庭3学 校に定期貸し出ししている。
- ・県立逗子高校では授業と部活動で11年間絵本 製作を指導、大学や市民向けにも講座を開催。
- ・2019年度内閣府「子供と家族・若者応援団表彰」 内閣総理大臣表彰を受賞。

団体情報

住所: 〒240-0111

神奈川県三浦郡葉山町一色1492-6

Mail: info@unileaf.org
URL: http://unileaf.org

★助成した事業・活動

子ども向け多感覚活用イベント

★内容

さわること中心の五感を活用した相互理解ワ ークショップ

★助成対象

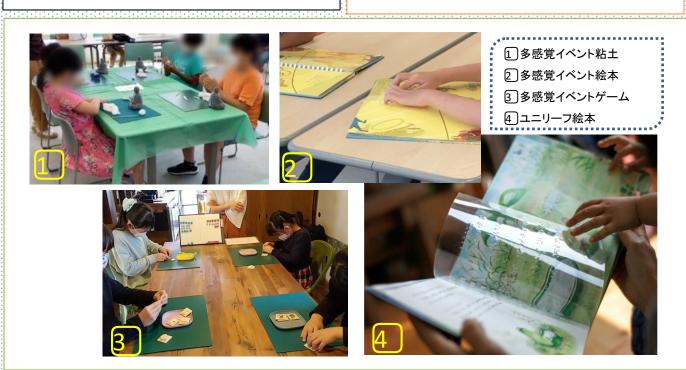
物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

点字付きユニバーサルデザイン絵本の活動を始めて13年。一歩進め、「触る」をキーに一緒に遊ぶイベント「皆一緒に多感覚で遊ぼう!」にご支援有難うございます!

共に生きる社会、お互い心地よくいられるには、慣れること、一緒に過ごす経験が大事。見るばかりの日常で、目を閉じ、触って一緒に遊んでみよう~見える子も見えない子も、それぞれの得意や良さを分かち合えたらと願いました。感想は・・「すごくよかった」「目が見えなくても普通に話せた」「いつもより楽しくできた」「触ってみると全然違うものに見えてくる」「普段とても視覚に頼っていることも分かりました」。イベント後、ペアの子にお手紙書きたいと皆が点字を学んでいます。

~一緒に過ごしてみたら世界が広がる~そんなユニバーサルな場を広げたい、いつか歴史建造物の前にミニチュア像を作り、誰もが触って楽しむ場にしたい・・夢は大きく進んでいきいます!



ラフェリーチェ(横浜市)

代表 穂志乃 愛莉

助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月

2019年 5月設立

団体の目的・活動内容

すべての子どもたちが夢と希望を思い描いて生きていける社会を目指して、生活困窮世帯の子どもたちに居場所提供および豊かに成長していける機会を 提供しています。

主に、ひとり親世帯およびDV被害者世帯、生活困窮 世帯の子どもたちの居場所支援・学習支援・食事提 供支援などを行っています。

活動歴

2019年5月立ち上げ主に以下の2つの支援を行っ てきました。

- 1. DV・虐待で苦しむ女性と子ども達の相談支援・ 救済支援(シェルター運営開始)
- → NPO法人DV対策センターへ移管2020年3月
- 2. ひとり親家庭およびDV被害世帯・生活困窮世 帯の子ども達への教育支援・居場所支援・食 事提供支援
 - → 現在、ラフェリーチェが担っています。

コロナで学校が休校となったときは、ほぼ毎日居場所を提供し、子ども達の居場所支援・学習支援・食事提供支援を行っていました。現在は、不登校のお子さんの学習支援、放課後の子ども達の居場所支援・学習支援、月1回の教育支援(プログラミング教 室、科学教室など)遠足、旅行などを行っています。

団体情報 住所: 〒横浜市青葉区美しが丘1-13-10

Mail: lafelice.aoba@gmail.com URL: https://lafelice.org

★助成した事業・活動

虐待被害者および母子家庭等貧困世帯の子 どもたちの支援

★内容

学習支援•居場所支援•食事提供支援

★助成対象

賃借料等

助威をうけて・・・の思い・メッセー

ラフェリーチェは、子ども達が夢と希望を思い描い て生きていける社会を目指して、子ども達の居場所 支援・学習支援・食事提供支援・教育イベント開催 等をおこなっています。コロナの影響で、学校が休 校になったり、分散登校になったりと、子ども達は落 ち着いて学習する環境を奪われています。 特にひと り親世帯は、学校がお休みでも仕事を休めない親も 少なくないため、子ども達が孤食となり、一人で過ご す時間が増えていきました。ラフェリーチェでは、そ んな子ども達がみんなで宿題をしたり、分からない 所を教えてくれる大学生スタッフがいたり等、子ども 達が楽しく安心して過ごせる居場所を提供していま す。立ち上げ間もなくて資金的に大変だったところを、 助成していただき、大変助かりました!おかげさま で、子ども達が生き生きと元気に過ごしています。心 より感謝申し上げます。今後とも、コロナ対策に気を 付けて、子ども達の健やかな成長のために頑張って まいりたいと思います。





地域交流サロンさざなみ (綾瀬市)

代表 薬師寺 良子

助成金額 242.000円

団体紹介

設立年月

2019年 9月設立

団体の目的・活動内容

「誰ひとり取り残さない」 ご飯を食べられな い子供がいる ひとりでさみしくご飯を食べて いる子どもや高齢者子育てや介護を個人で抱 えている人などの支えや、温かい家庭料理を食 べてほっとできる居場所を作りたいということ で3世代サロンを始めました。

SDGsの1、貧困をなくそう 2、飢餓をゼロに 3、すべての人に健康を 11、住み続けられ るまちづくり 17、パートナーシップで目標 達成をしよう という目標を掲げて実践したい と考えています。

活動歴

2019年10月から 第4日曜日にサロンを開催 コロ ナでレクリエーションが出来ない時はお弁当と食料

2020年7月より 子どもたちとその家族向けにお弁 当と食料を配布。

団体情報 住所: 〒252-1111

綾瀬市上土棚北5丁目8-21 森滝ビル 3階 デイサービスひばり内

TEL: 0467-38-4334

URL: https://salon-sazanami.com/

★助成した事業・活動

地域交流サロンさざなみ広報事業

★内容

3世代交流事業、子ども食堂、フードパントリー 活動の広報

★助成対象

ホームページ開設費、交通費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成を受けて感謝申し上げます。

2019年からスタートした三世代交流サロンに加え て子どもと家族のためのお弁当の配布を開始しまし た。本当に必要な方や、この活動に賛同していただ ける企業などに、さざなみの活動を知っていただくた めHPが必要だと考えていました。こちらから助成を 受けることでHPを作ることが出来ました。まだ完成 途中ではありますが、サポートしてくださる企業も見 つかり今後の活動に活かせそうです。

また、食品を保存しておくために冷蔵庫や冷凍庫 をそろえることも出来ました。本当に助かっています。 10月から毎週土曜日にパントリーを開催することに なりました。これも助成を受けることができたおかげ

ありがとうございました。







相模原をプロデュースする会 (相模原市) 代表 今野 紀代美 助成金額 325,000円

団体紹介

設立年月

2019年 4月設立

団体の目的・活動内容

地域プロデューサー養成講座を受講したメンバーが地域の課題解決や持続可能なまちづくりに取り組 む企業・団体に向けた中間支援のための団体として 設立。相模原市、市内各地域の課題や地域団体の 活動課題に対し、大学や企業、各種産業団体とコラボレーションし、それらの組織が持つシーズや情報発信力を活用して課題解決を図るとともに、市民のための持続可能な仕組みや事業となるよう「事業支援講座」(ブランドについて4回講座)を実施予定。

また、気軽に相談できる「無料事業相談会」を個 別を開催し、さがプロのことも知ってもらい、その場 でお互いが仲良くなり応援しあえる関係づくりを行っ ています。

相模原のブランドについて考えていく方が増えてき て大きな輪にまとまる、みんなで住みやすいまちに していく活動が出来たらと考えています。

活動歴

2019年から講座と交流会と相談会を開催。

交流会で繋がることで新しいお客様や、新しいサ ビスが生まれています。 繋がっていくことで相模原のファンを広げ相模原ブランドを作っていけたらと考 えています。

相談は個人や団体、事業主の方と対面やオンライ ンで相談を受けています。

団体情報

Mail: sagapro.contact@gmail.com

★助成した事業・活動

相模原をプロデュースする事業

★内容

相模原の資源を活用した『相模原ブランド』の

★助成対象

物品購入費、ホームページ作成費、印刷製

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度助成を受けることが出来ましたこと感謝して います。

私たちは相模原が住みやすいまちになるように、 多くの方に手を繋いで頂き、新製品、新規事業など が生まれ、協力体制が出来るような場づくりや、相 談を行っています。

団体や事業主の方の悩みなど相談を受けて、専 門の方をご紹介したり、アドバイスを行っています。 ZOOMではありますが交流会を開催し、そこに参加 した方同士がコラボをすることで一つの商品が生ま れたり、協力したりすることで事業の幅が出てきてい ます。 2022年1月からブランドについての連続講座 を開催予定。愛される相模原ブランドが出来上がり みんなで盛り上げていけるまちづくりを目指していま

現在私たちの活動を知っていただき広く利用して いただくためのHPやロゴ、リーフレットを作るため準 備しています。



特定非営利活動法人 神奈川フードバンク・プラス(横須賀市) 代表 本岡 俊郎 助成金額 490,000円

団体紹介

設立年月

2017年 7月設立

団体の目的・活動内容

社会の構造変化による生活困窮者、高齢者、 一人親家庭の増加に対して、他のフードバンク団体 と協力しながら、食品の提供及び生活支援に関する 事業を行い、食品ロス削減を通じて地域社会の福 祉増進に寄与する事を目的として活動しております。

活動歴

- 公営団地の独居高齢者への食品支援 (3ケ所、隔月実施)
- ・ コロナ禍による生活困窮世帯への食品支援 (毎月実施)
- 子ども食堂、母子福祉会、横須賀市生活支援援課への食品支援 (毎月実施)
- 横須賀、三浦、逗子市社会福祉協議会への 食品支援 (毎月実施)

団体情報

住所: 〒238-0014

横須賀市三春町5-21

TEL: 046-827-7050

URL: http://foodbankplus_kanagawa.org/

★助成した事業・活動

独居高齢者への食支援事業

★内容

独居高齢者(生活困窮者、買い物弱者)への食品 無料配布会

★助成対象

倉庫家賃、ボランティア交通費、ガソリン代

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

今、コロナ禍による生活困窮世帯への食品支援が世間の注目を浴びております。私たちの団体でも月2回の配布会を実施し、90世帯に無料食品支援を行っております。この問題はコロナ禍の収束により解決は出来るでしょう。

一方、地域では高齢化率上昇の問題があり、一人暮らしの高齢者が増加しており、買い物難民も出ております。そして高齢者の4人に1人が生活保護基準以下(貧困)で生活しているのが現状です。今回の助成を受けるに当たってのテーマは「独居高齢者への食支援事業の充実」です。

助成金を大いに活用して、活動の充実を図ります。 ありがとうございました。





特定非営利活動法人 リンクトゥミャンマー (横浜市) 助成金額 244,013円 市原 彩子 代表

団体紹介

設立年月 2017年 3月設立

団体の目的・活動内容

日本とミャンマーがつながり、ともに発展する社会を築くことを目的に、2017年3月に設立されました。名前の「リン ク」には、一方的な支援ではなく、日本とミャンマーを対等 につなぐという意味を込めました。日本人とミャンマー人 が協力して、

- (1)在日ミャンマー人および在日外国人の定住支援事業
- (2)日本・ミャンマー間の文化交流事業
- (3)ミャンマーでの孤児支援・教育支援・農業支援・奨 学金支援など国際協力活動

を行います。

活動歴

- ・2012年~現在 前身の団体から定住支援を実施
- ・2017年~現在 ミャンマー語レッスン
- ・2020年~現在 ミャンマー人向け日本語レッスン (2017年)ミャンマー少数民族水かけ祭り、かながわ 湊フェスタ出展

(2018年)ラカイン州の孤児院を訪ねる視察ツアー、ミ ャンマーへつながる子へのミャンマー語レッスン (2019年)ラカイン州で親と離れて暮らす子ども 1000 人に校舎を届けるプロジェクト、かなざわラウ ンジフェスティバル出展

(2021年)在日ミャンマー人向け食糧支援

団体情報 住所: 〒236-0051

横浜市金沢区富岡東6-30 E502

TEL: 045-567-5858 Mail:info@npoltm.org

URL: https://www.npoltm.org/

★助成した事業・活動

ミャンマーコーヒーとマスクの販売事業

★内容

ミャンマーコーヒー・マスク販売事業を通じた 在日ミャンマー人定住支援活動

★助成対象

WEB等の広報費、人件費など

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成いただき誠にありがとうございます。当会は 持続的な事業収入を得ることで、地域の在日ミャン マー人の方々に安定して支援を行いたいと考え、 ミャンマーコーヒーとミャンマーマスクの販売事業を 立ち上げました。

当会は在日ミャンマー人の方々一人ひとりの要望 に応じた多岐に渡る支援をしております。しかし、そ れらの支援活動だけで収入を得ることは難しい状況 にあります。そこで、近年注目を浴びているミャン マー産コーヒーと、ミャンマーの高い縫製技術生か したマスクの販売を企画いたしました。

ミャンマーへ経済支援を行うだけではなく、本事業 を通して得られる収益をもとに、当会の定住支援活 動を継続させ、地域社会に貢献いたします。



特定非営利活動法人 フードバンク横浜(横浜市) 代表 加藤 安昭 助成金額 440,000円

団体紹介

設立年月

2016年 12月設立

団体の目的・活動内容

スタートはフードロス削減を目的としましたが、現在はSDGsに連動してく飢餓をなくす><貧困の救済><質の高い健康と福祉を><全ての子どもに質の高い教育を>をテーマに掲げ取り組んでいます。

団体の基本理念はく誰も置き去りにしない。救われる側から救う側に>とし、受益者一人一人に対面で接し、いろいろな悩みや相談に対応し、早期に自立できるように支援します。

活動歴

・ひとり親食支援:毎月4会場、各会場月1回、 受益者数:月150名

・子ども教育支援: 毎週2回、1会場・ホームレスへの食支援: 毎月1回

・他団体への食支援:毎月3団体へ支援

団体情報

住所: 〒221-0052 横浜市神奈川区栄町

16-1-304

TEL:045-512-4965

Mail:management@fbyokohama,jp URL:httl//:www.fbyokohama,jp

★助成した事業・活動

子ども未来塾リモート学習の新規導入

★内容

ひとり親家庭の子どもの学習支援

★助成対象

中古パソコン、学習システム利用料

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成いただき、早速活動に取り組む準備を開始しました。

今回の助成申請事業は<子どもの未来塾リモート教育の導入>です。常設会場で実施の子ども未来塾は現在小学生、中学生10名登録されていますが、参加者は日により増減があります。実施日時は火・金曜日の16:00~19:00ですが、時間の関連で付き添いを配置しています。内容は横浜の教科書に準拠してeラーニング方式で実施し、成績の管理を行い、親にフォローしています。

ひとり親の子どもは不登校や勉強遅れで貧困による負の連鎖を反映していますが、親にとっては最大 の悩みの一つです。

ひとり親食支援会場でリモート教育の広報活動を既に始めており、親や同伴の子どもが強い関心を示しており、早期の開始を期待されています。 早期にスタートし、ひとり親家庭の救済に貢献するように努力します。





港北ユーステーブル(横浜市)

代表 鈴木 澄江

助成金額 278,000円

団体紹介

設立年月

2020年 9月設立

団体の目的・活動内容

子ども及び若者たちの社会的自立の支援を目的とし、特にそれぞれの特性や生育環境の実態を踏まえた支援、そのための地域での支援資源との連携を図る。

- 1. 地域の子ども及び若者たちの社会的自立に向けての生活・学習・進路への支援事業
- 2. 生活・学習・進路の困難にかかわる相談事業
- 3. 困難を背負う子ども及び若者ならびに保護者の実態を理解し、地域での理解を広める 活動
- 4. 地域で困難な環境で生きる子ども及び若者を支援する人材・組織・機関との協力事業

活動歴

- ・不登校の中学生に対してのオンラインによる 学習支援
- 保護者対象の教育相談、進路相談

団体情報

住所: 〒223-0052 横浜市港北区綱島東4-6-3

TEL:080-6532-7472

Mail: kouhokuyouthtable@gmail.com

★助成した事業・活動

学習支援教室「とことこ」

★内容

主に外国にルーツがある小中学生のための学習支援

★助成対象

修繕費、家賃一部、物品購入費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

このたびは、私達の活動への助成、本当にありが とうございます。コロナも加わり、子どもたちは学校 でも家庭でも様々な課題をかかえストレスの中で生 きています。現場にそれぞれの課題にゆったりと対 応する余裕ない場合もあるでしょう。地域の中で何 かできないかと思い、古いアパートの一室でまずは 外国にルーツのある子どもたちへの学習支援教室 「とことこ」を始めました。近隣の他の小学生も、宿題 をしたり、工作したりと共にすごしています。活動を 始めてみると、保護者の方たちとの交流も含め予想 以上に学ぶことの多い楽しい日々です。子どもも、 中高生、大人もいろんな形で集える居心地の良い 場所になるように、更に設備を整えていきたいと 思っています。 支援する、されるという関係を越え て双方が豊かな経験ができる場を目指しています。 こんなことなら私でもできるかもと思っていただけた ら嬉しいです。





特定非営利活動法人 バンブーまなび塾(横浜市) 助成金額 270,000円 代表 竹内 直美

団体紹介

設立年月

2015年 4月設立

団体の目的・活動内容 不登校、ひきこもり、障害等困難を抱えた子ども若者に対し孤立させることなく、自立と幸福な人生を歩んでいけるように必要な支援をする。その目的のために安心でき、大人が寄り添ってくれる居場所、学習支援、体験を深め多くのことを学べる行事、家族を含めた相談等必要な支援を行う。

活動歴

・星を観る会とキャンプ(2015年~2020年)・物づくり(2015年より現在まで) ・物つくり(2015年より現在まで) 和紙を作り年賀状作成、ジェルキャンドルクリスマス飾り、プリザーブドフラワー、レジン、陶芸縄文土器、草木染、野菜栽培、収穫し調理、カレンダー作り、折り紙、編み物・コンサート・見学(2015年~2017年) 12月みなとみらいホール市大オーケストラ定期演奏会、2018年戸塚区公会堂、2019年科学技術館、2019年構造屋動

技術館、2019年横溝屋敷

・学習支援(常時) 学びなおし、英検、数検、 高卒認定、大学受験 ・科学実験教室(2015年~現在まで) 年間10日

団体情報

住所: 〒222-0003

横浜市港北区大曽根2-34-26

TEL: 045-541-3897

Mail:bamboombj@gmail.com URL: http://bamboombj.jimdo.com ★助成した事業・活動

不登校、ひきこもり、障害等困難を抱えた子ども 若者に対する居場所支援プログラム

★内容

. 物づくり、科学実験教室等、体験プログラムを 通した学びや社会参加への支援をする活動

★助成対象

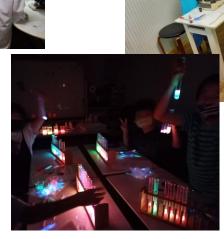
物品購入費、講師謝金

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

当法人は不登校ひきこもりの子ども若者に自立支 援活動として主に学習支援と居場所支援を行ってお ります。居場所支援では不登校であったために体験 できなかったことを体験し、その経験から学ぶ失敗 や挫折感、達成感や自己効力感、コミュニケーショ ン能力等を育て社会参加へのきっかけを作りたいと 考えています。そのために、物づくり、星を観る会と キャンプ、社会科見学、科学実験教室などをやって いますが、どの活動も材料費や教材、消耗品等費 用が掛かり苦慮しておりました。今回の福祉たすけ あい基金の助成を受けることにより、星を観る会、 実験教室の講師依頼、実験器具薬品の購入、物づ くりの材料など、より充実した体験学習ができるよう になりました。利用者の方が体験から多くのことを学 んでほしいと願っております。







一般社団法人 4Hearts (茅ヶ崎市)

代表 那須 かおり

助成金額 479.794円

団体紹介

設立年月

2020年 5月設立

団体の目的・活動内容

聴覚障害者がかかえる様々な社会問題を多くの人と共有し、地域や社会と"ともに"解決していきます。
(1)ポータルサイト運営

(2)「みみここカフェ」ダイアローグイベント開催 (3)スローコミュニケーションプロジェクト (神奈川県・神奈川大学との共同研究など)

(4)聴覚障害者体験・研修

(5)コワーキング・カウンセリング・カフェバー(予定)

活動歴

2020年9月 みみとこころのポータルサイト正式公開

2021年4月 神奈川県による「ともに生きる社会か

ながわ憲章の普及啓発プロジェクト」 のもと、神奈川大学高野倉ゼミとUX デザイン共同研究、スズキヤ鵠沼店

で実証実験

2021年6月 神奈川県茅ヶ崎駅南口の飲食店で

月曜昼のみチャレンジキッチン開始

2021年7月 NHKろうを生きる 難聴を生きる「気持ち を言葉に~聴覚障害者への心理支援~」

密着取材•出演

2021年9月 社会起業塾イニシアティブ(花王社会起

業塾)採択

団体情報 住所: 〒253-0072

神奈川県茅ヶ崎市今宿965番地1

Mail: info@4hearts.net URL: https://4hearts.net/

★助成した事業・活動

『みみとこころのポータルサイト』の充実

★内容

聴覚と心理をテーマとしたポータルサイトの 充実による情報保障

★助成対象

機材購入費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成決定を大変嬉しく思います。

2019年から活動を開始し、地元のNPO法人や株 式会社を巻き込みながら地道に活動を続けてきまし た。『みみとこころのポータルサイト』は、聞こえない・ 聞こえにくい人の身近なロールモデルを提示するた めに始めました。

手話をする人もいれば、口話と手話を組み合わせ る人、口話のみの人など、取材対象者は様々なコ ミュニケーション方法をとられます。にもかかわらず、 撮影機材もなく、私物のスマホを持ち寄ってなんとか インタビューを撮影している状況。どうしても音質・画 質は劣り、手話や表情も少し見づらかったり、手話通 訳ワイプを挿入することが出来なかったりと歯がゆ い思いをしていました。

今回の助成を受けて、ちゃんとした機材を揃えるこ とができます。クオリティを保証した上で、届けたい 人にきちんと届けられるよう、丁寧な記事作りを心掛 けて参ります。



↑ みみここカフェ



个聴覚障害者 体験

> ←みみとこころの ポータルサイト



Sp Farm



スーパーでの神奈 川大学との実証実

特定非営利活動法人 Fun Place 39 (横須賀市) 代表 宮浦 めぐみ 助成金額 559,620円

団体紹介

設立年月

2020年 7月設立

団体の目的・活動内容

地域社会の中で障害者がスポーツ活動を楽しんで行い、継続していける環境を作り、ありのままの活動の現状を一人でも多くの方に見てもらうことで、障害者への理解を広げてく。 そして、スポーツを通じて障害者との垣根も自然に越えることができ、共生社会の実現にむけ活動をしていくことを目的としています。

活動歴

- ・障害児者水泳指導の実施
- ・障害児者陸上運動指導の実施
- ・パラアスリートサポートの実施

団体情報

住所: 〒239-0807

横須賀市根岸町3-4-18

TEL: 046-854-8983

Mail: funplace39@gmail.com
URL: https://funplace39.com

★助成した事業・活動

障害者とその家族のためのスポーツ支援活動

★内容

障害児水泳教室と車椅子陸上教室実施、 室内運動療育の新設

★助成対象

物品購入費、ボランティア交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちは障害児者のスポーツ活動を通じて少しでも障害者への理解とパラスポーツ環境の普及啓発ができればと活動をしています。東京オリンピック・パラリンピックが終わった今、まだまだ健常者のスポーツ活動と比べると、環境は整っているとはいえません。

そして、コロナ禍での当事者との活動はさらに厳しい現状でした。スポーツ施設の閉鎖により活動が休止となり、当事者は居場所を失いました。

この度は、助成を受け室内活動場所の確保をすることができました。活動が継続できることになり、心から感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。







認定NPO法人 よこはま成年後見つばさ (横浜市) 代表 渡邉 修一 助成金額 400,000円

団体紹介

設立年月

2011年 10月設立

団体の目的・活動内容

成年後見制度を必要とする一般市民に対して、財産管理と身上保護を大切にした成年後見サービス等の提供を行い、権利擁護と安心して暮らせる地域づくりをめざしています。家庭裁判所の審判に基づく法人受任による成年後見人等の活動を柱にして、成年後見制度の利用・申立の相談活動や障害児者の計画相談支援に関する事業等を行っています。

活動歴

- ・2012年2月 家裁から初の受任1件。 2021年8月末にのべ受任件数は111人となる。
- ·2015年12月 認定NPO法人認証、2020年更新
- -2016年7月 厚生労働省指定課題の調査・研究 2017年8月 最高裁家庭局に適切な類型診断の ための情報提供書(案)を提言。
- ・2019年6月 計画相談室ウイング開所
- ・2019年2020年 法人の支援で市内に法人後見実 施団体2か所誕生(NPO法人つなぐ・後見つぼみ)

団体情報

住所: 〒240-0066

横浜市保土ヶ谷区釜台町5番5号

ルネ上星川5-202 TEL: 045-744-5600

Mail: info@yokohama-tubasa.org URL: https://vokohama-tubasa.org

★助成した事業・活動

法人後見事業10周年記念事業

★内容

記念講演会の開催と記念誌発行

★助成対象

講演会開催費用、印刷製本費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成金申請の相談面接の際、成年後見事業での 助成金申請は初めてと聞き、一瞬助成金は難しい かもしれないと思いましたが、法人設立10周年を迎 える記念事業に対して助成金が決定したことは嬉し い限りです。この10年間、法人後見の有用性や「誰 でも等しく権利擁護」という基本理念を訴え、財産管 理だけでなく、身上保護にも重点を置いて地道に積 み重ねてきた活動が認められた思いで感無量です。 心より感謝いたします。

この制度は、契約制度の介護保険導入時に契約能力の不十分な方を支える車の両輪として出発しましたが、世間一般の認知度はまだ低いです。今後、さらに必要になる方が増えることが予測される制度であり、この機会に成年後見制度の理解と普及に努め、必要とされる皆様の力になれば幸いです。今後も引き続き地道な活動を続けてまいります。



青葉フードシェアネットワーク (横浜市) 代表 稲邑 恭子 助成金額 347,454円

団体紹介

設立年月

2020年 7月設立

団体の目的・活動内容

- ・青葉区で活動している団体がネットワークして フードドライブ・フードパントリーの活動を広げる。
- ・「食」を通じて、見えにくい困難を抱える方達とのつ ながりを広げる。

活動歴

- ・2020年7月、ミニフォーラムでフードドライブ、フードパントリーに取り組む団体のネットワーク化を検討。
- ・10月から具体的な連携に取り組む。各団体が定期的 にフードドライブ、2団体がフードパントリーを実施。
- ・2021年3月、市内山内小学校6年生へ出前授業を実施。 青葉フードシェアネットワークと各団体の取り組み紹介
- ・4月 生活クラブ生協組合員を中心とした有志により、 青葉フードシェアネットワークのもとにフードシェアガイ ドプロジェクトを立ち上げる。HP作成を通じて食支援 活動の見える化をめざす。
- ・7月、ネットワークにNPO法人ワーカーズ・コレクティブ パレットが参加

団体情報

青葉フードシェアネットワーク URL https://www.facebook.com/aoba.foodshare

<参加団体>

- ・NPO法人スペースナナ https://spacenana.com
- ・NPO法人ピッピ・親子サポートネット

https://npo-pippi.net

- ・横浜北生活クラブ生協 ・市が尾デポー運営委員会
- ・フードシェア・青葉 ・NPO法人ワーカーズ・コレクティブ パレット https://palette2000.com

★助成した事業・活動

食支援活動の情報を提供するホームページ の作成

★内容

ホームページ立ち上げ、チラシ・リーフレット作成

★助成対象

広報費 • 印刷費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

2020年のコロナ禍、フードドライブ、フードパントリーの活動を行う団体をネットワーク化することから私たちの活動はスタートしました。生活困窮者自立支援制度の相談件数が増大したことを受けて、横浜市の生活クラブ組合員を中心に地域の活動団体が青葉・港北・泉区役所への聞き取りを実施し、そこで、食支援に関する情報が大変乏しいということが課題として浮かびあがりました。今回助成を受け食支援情報を発信するHPを立ち上げることができました。

今後は、集めた情報を順次アップしていく作業を進めながら、横浜市の一部の地域から活動への参加を広げ、情報も豊富化していきたいと思っています。また、食支援団体から情報をヒアリングする過程で、団体との新たなつながりが生まれたり、地域の課題を再認識する場面もあったりと、活動の幅が広がってきていると実感しています。

さらに助成金の一部を活用して、食支援団体の活動を 伝える学習会も実施し、地域のなかでゆるやかなたすけ あいの関係が育まれていくことを願っています。







- ①あざみ野第一小より寄付
- ②山内小学校出前授
- ③分け合い作業
- ④東本郷生産者より大根 の寄付







NPO法人 ロクマル (横浜市)

代表 有澤 厚子

助成金額 200,000円

団体紹介

設立年月

2017年 4月設立

団体の目的・活動内容

- 高齢になっても住み慣れた地域で働き、地域の 活動に参加する。生涯を通してのワークライフバ ランス実現。
- 高齢者も人から支えられるばかりではなく、働き かけることができる「地域共生社会」の実現。

活動歴

学び直し塾事業:

2020年3期10月~12月オンラインで全16講座、 延べ230名が受講/2020年5月 ・ロインルサミット等交流事業:

藻谷浩介氏オンライン講演「ロクマルから地産 地消な働き方を」100 名参加

・ 地産地消の事業

お手紙弁当宅配事業(週2回):2020年7月~12月 延べ100名利用

団体情報

住所: 〒224-0057

横浜市都筑区茅ヶ崎中央36-5

エルドラード横浜6F TEL: 045-944-1714

URL: https://rokumaru60.info

★助成した事業・活動

高齢期予備軍ロクマル世代の20年後に向けた 冊子づくり

★内容

お手紙弁当のお届け活動を通した高齢者取材 冊子づくり、ライター養成

★助成対象

冊子作成費

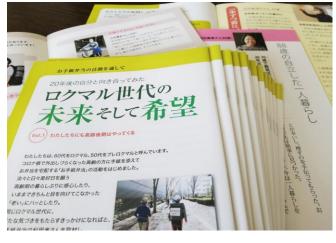
助威をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍で外出しづらくなった高齢の方に手 紙を添えてお弁当を宅配する「お手紙弁当」の 活動を始めました。利用者の多くは80代90 代、一人暮らしの女性です。活動を通して見え てきた高齢女性の暮らしや困りごとは、「老い る」とはどういうことなのか、まさに現場を学 ぶ場といえます。

この貴重な情報や体験を冊子にまとめること で、これから高齢期を迎える地域のロクマル世 代の人たちと共有していきたい。20年後の高齢 社会ピーク時に、高齢後期を迎えているのはロ クマル世代、中でも女性です。発行を継続する ことで、高齢期一人暮らしへの理解が進み、地 域共生社会の担い手づくりにつながることが期 待できると考えています。







子育でサークル金沢区ママ(横浜市)

代表 上野 さやか

助成金額 288,000円

団体紹介

設立年月

2007年 8月設立

団体の目的・活動内容

横浜市金沢区内で子育てしているママさん、お子さんとつながるきっかけの場として、レンタルスペースを使ったイベントやSNSでの情報共有を行っています。

2021年4月より幼稚園だった施設を再活用して、地域の方とさらに繋がれる居場所づくりを準備し、プレオープンしています。こちらの施設では子育て世代の枠を超えて「地域で育てる」を目標にしています。

活動歴

・2007年8月 子育てサークル金沢区ママ立ち上

げ(mixi、アメブロ、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、公式LINE順次開設)

•2018年6月 mama's Handmade MARKET 定期開催

-2019年12月 レンタルスペースにて座談会の開催

・2021年4月 活動拠点「ルンビニーつながりの庭ー」 開所に向けて準備・プレオープン

団体情報

住所: 〒236-0042

横浜市金沢区釜利谷東1-24-8 ルンビニーつながりの庭-

Mail: kanazawaku_mama@yahoo.co.jp

★助成した事業・活動

シェアスペースmonmoを活用したイベント 企画運営

★内容

子育て世代を中心に地域の方を対象とした制作イベント、お話し会、まちの先生を講師とした講座開催

★助成対象

講師謝金、物品購入費、印刷費、消耗品費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は助成いただきありがとうございます。 金沢区ママの活動は今年で14年目となりますが、 今まで活動拠点を持てず、イベント出店やレンタル スペースの利用等で単発不定期開催でした。今年 に入り施設を活用して何かできないかと模索してい たところ、かながわ生き活き市民基金のご支援を知 り、活動の幅が広げられるチャンスを与えていただ きました。

施設を運営したことも拠点での活動も経験のない 私たちに、今までの活動を振り返る時間と、今後の 展望に期待を持てる有意義な時間もつくっていただ けたと、ありがたく思っています。

今後はコロナ禍でできることを最大限に考え、子育て中の方、お子さん、地域の方がつながれる居場所づくりに努めていきます。福祉たすけあい基金により、当団体での活動が豊かなものになるよう頑張ります。ありがとうございました。













財団を応援する「賛助会員」募集と「福祉たすけあい基金」への寄付のお願い

登 賛助会員募集

公益財団法人かながわ生き活き市民基金は、助成事業(福祉たすけあい基金、エラベル)、研修・セミナー事業(フォーラム開催、報告書発行)、相談・助言事業(フードバンク支援業務受託、遺贈・生前寄付)、広報事業の4つの事業を行っています。かながわ生き活き市民基金では、当財団の活動を継続的に支援してくださる「賛助会員」を募集しています。賛助会費は財団の運営に活用します。 賛助会員としてかながわ生き活き市民基金への応援をお願いします。

<会費>

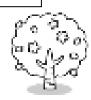
個人会員 年会費 (1 口 1,000 円) 1 口以上 法人・団体会員 年会費 (1 口 10,000 円) 1 口以上

- 賛助会費は当財団への寄付となり、税制優遇処置の対象となります。
- 賛助会員として支援いただくと下記のような特典があります。

<会員特典>

- ・ 年次報告書の送付
- ・助成団体報告書「福祉たすけあい基金 BOOK」の送付
- ・フォーラム報告書の送付
- ・ 当財団が企画開催するイベントへのご招待(フォーラム、贈呈式)

```
公益財団法人かながわ生き活き市民基金 賛助会員規程
(目的)
     第1条
            この規程は、公益財団法人かながわ生き活き市民基金(以下この法人という)の事業の発展のために協力する賛
     助会員に関して、必要な事項を定めることを目的とする。
(資格)
     第2条
            この法人の目的に賛同し、その事業に協力しようとする個人又は法人は、会員になることができる。
(入会)
     第3条
            会員になろうとする者は、所定の入会申込書を提出しなければならない。
     (会費)
     第4条
           会費は入会時に年会費を納入し、以降、年会費を毎年納入しなければならない。
    2. 年会費は次のとおりとする。
(1) 個人賛助会員 1 ロ 1,000 円 1 ロ以上
(2) 法人・団体賛助会員 1 ロ 10,000 円 1 ロ以上
    3. 会員が納入した年会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない。
(特曲)
       会員はこの法人が提供する次の情報・サービスを受け取ることができる。
第5条
1.年次報告書 2フォーラム報告書 3. 助成団体報告書
4.この法人が企画開催するイベントへの招待
 (退会)
    、 会員は退会届を代表理事に提出し、任意に退会することができる。
2. 会員は次の事由により資格を喪失する。
     2. 云貝は次の事由により負権を表でする。
(1) 法人の解散又は個人の死亡
(2) 会員が正当な理由なく年会費を滞納し、かつ催告に応じないとき。
(会費の使途)
    第7条
           会費はこの法人の公益目的事業を推進するための活動費用(事業費・管理費)に使うもとのとする。
(改正)
第8条
       この規程の改正は、代表理事が理事会の決議を経て行う。
 附則
1. この規程の施行に関し、必要な事項は別に定める
2. この規程は 2018 年 8 月 11 日から施行する。
```



「福祉たすけあい基金」への寄付のお願い

神奈川県内で福祉たすけあいの市民活動支援へのご寄付をお願いします。

公益財団法人かながわ生き活き市民基金では、毎月 100 円の寄付(手続き上、年間分一括振込)をお願いしています。寄付金のうち 65%を「福祉たすけあい基金」の助成金として活用します。また、35%は公益財団法人の運営費(管理費、広報費、市民活動のネットワーク費など)として使わせていただきます。現在 1 万人を超える方々が継続寄付に賛同されています。

年度の事業活動報告書は財団のホームページからご覧になれます。

「賛助会員・福祉たすけあい基金」への寄付申込方法

37 ページの申込用紙に必要事項をご記入いただき、

①郵送、②ファックス (045-620-9045)、③E-mail、のいずれかで当財団まで送付ください。

住所: 222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6 階

FAX: 045-620-9045 迄

E-mail: info@lively-cituzens-fund.org

上記手続きが済みましたら以下の方法にてご入金をお願いいたします。

●郵便振替

記号番号 00250-0-72370

公益財団法人かながわ生き活き市民基金

●銀行振込

中央労働金庫 新横浜支店(334) 普通 3603639 公益財団法人かながわ生き活き市民基金 通信欄に「賛助会員」、 「福祉たすけあい基金」の いずれかを記入ください。

●現金書留

送付先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 6F

公益財団法人かながわ生き活き市民基金 行

税制優遇が受けられます

公益財団法人かながわ生き活き市基金へのご寄付は、確定申告により以下の様に税制上の優遇措置を受けることができます。

所得税控除・・・・・・・・・・・・・・・・・・(公益法人への寄付総額-2,000 円)× 40% 県民税・市町村民税控除 ・・・(同上) × 10%

例:横浜市在住の方が10,000円をご寄付された場合

 $(10,000 円 - 2,000 円) \times 50\% = 4,000 円が控除されます。$

詳しくは財団ホームページか、お住まいの自治体・税務署でご確認ください。



賛 助 会 員・福祉たすけあい基金寄付 申 込 書

貴財団の趣旨に賛同し、(賛助会員・福祉たすけあい基金寄付)に申し込みます。

※この用紙をファクス(045-620-9045)または郵便でお送りください。

※この用紙を当財団ホームページからダウンロードして、メール送付でも結構です。

| 中心年月日* | 20 | | 月 日 | | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|---|-------------------------|-----------------|--------------------------|------------|-------------|------|
| 申込種別* | [| □ 賛助会員(個人) □ 賛助会員(法人・団体) □ 福祉たすけあい基金 | | | あい基金寄付 | | | |
| ご氏名* | (フ | リガナ) | | | | | | |
| (法人/団体名) | | | | | | (法人・団 | 団体の場合、ご担当者: |) |
| ご住所* | ₹ | | | | | | | |
| TEL* | | FAX | | | | | | |
| Eメール | | | | | | | | |
| ホームページや広報物へのお名前の掲載* □可 □匿名希望 | | | | | | | | |
| メールマガジンや広報物の送付、イベント案内など* 口必要 | | | | □必要 | ロメー | ・ルマガジンのみ必要 | □不要 | |
| メッセージ 自由にお書き | - | Λ. | | | | | | |
| *印は必ずご記力 | くくださし | , \ ₀ | | | | | | |
| □ 賛助会員 | | | 申込 | 口数 | 1() | - | | |
| (個人会費 | }) | <u>1 口 1,000 円以上、何口でも</u> ※会員の期間は、4 月~翌年 3 月となります。 | | | | | | |
| □ 賛助会員 | | | 申込 | | () |] | | |
| | (法人・団体) ※会員の期間は、4月~翌年3月となります。 | | | | | | | |
| □ 福祉たすい | | | 寄作 | 寸金額 | į (|)円 | | |
| 基金への | 針 1寸 | | 1,200 | <u>円以上、</u> | いくらでも | | | |
| 領収書発行 | 行 | ※当財団 | への賛助会費・福祉 口必要 | 祉たすけ | あい基金への寄付 (一不要 | | の対象となります。 | |
| +\±+1.1. | | | 郵便振替 | | 口ろうきん | | | |
| お支払い 方法 | | - | 己号番号 50-0-72370 | | 新横浜支店(334) 普通 3603639 | | □現金書留 | 口手渡し |
| ,,,,, | | | 施り 72370 益財団法人かな: | がわ生き | | | | |
| | | | | | | | | |

※いただいた個人情報は、領収書の発行、財団からの各種ご案内の送付以外の目的では一切使用致しません。



発行:公益財団法人 かながわ生き活き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6 F

 $\texttt{Tel} \, : \, 045\text{--}620\text{--}9044 \qquad \texttt{Fax} \, : \, 045\text{--}620\text{--}9045$

Mail: info@lively-citizens-fund.org

URL: http://www.lively-fund.sakura.ne.jp

Facebook: http://www.facebook.com/livelycitizensfund

発行日: 2021年12月31日